

語は使わないので身振り手振りジェスチャーを使って何とか意思を伝えようとがんばっています。

いよいよ、二週間前に大学の授業が始まりました。大学の講義を、しかも習ったことのないビジネスを英語で理解できるのだろうかと本当に不安でした。予想どおり初めはなにをいっているのかさっぱりわからずどうなることかと思いました。しかし、ここは早稲田の交換留学制度ちゃんとした補講の授業が設けられていました。すごくこの授業があったことで助けられています。

アメリカの大学の講義は日本の大教室の講義とは全然違います。クラスの人と共同でクイズに答えるという作業があって、そのクイズのスコアがとても重要な成績の要素になります。だからほとんどの生徒が講義に出席しています。本当に出席が重要なのだなと思いました。一人のチームメイトが休んだだけでかなりチームに迷惑がかかると思います。だから私は絶対に何を言っているのかわからなくても出席しようと決めました。

ビジネスの基礎を今学んでいて、全く知識のない私にはかなりの努力が必要だと感じています。でも私のチームの人が結構親切な人なのでわからないと教えてくれます。でもやはりなにかわからないことを聞くにしても、前提の勉強はある程度必要だと思いました。

その他の点で気づいたことはアメリカの大学の講義は生徒と教授の距離が本当に近いことです。授業でわからないことがあると生徒がファーストネームで教授の名前を呼び、即座に質問を投げかけます。この光景をはじめて見たときは本当に日本とアメリカの国柄の違いを感じました。私も早くそんな風に質問を授業中に投げかけてみたいと思います。

もう一つ取っている授業はライティングの授業です。このクラスは留学生だけのクラスなので比較的日本人が多く、授業も日本と同じベースなのかとはじめは思っていました。しかし、ここにくる留学生のパワーは本当にすごいです。ライティングのクラスだというのに、ディスカッションのクラスかと思わせるほどの発言ぶりです。私もこのクラスでは毎回発言するようにしています。松本先生の授業を受けてから発言することに抵抗がなくなった気がします。ほかの留学生のパワーに負けなようにがんばっています。

ライティングはアメリカに来てからも私の中での最重要課題です。しかし、松本先生の授業で習ったライティングのプロセスと同じなので、日本語でライティングの基礎・応用を受けておいて本当によかったと思いました。エッセイを書くというのは、いろいろなアイデアを論理的にまとめることによってできるものです。論理的思考を身につけるのに、アメリカという国で勉強することはすごく適しています。発言したことに必ずといっていいほど理由をつけなければ会話にならない国だからです。

今学期、私はこの二つの授業を自分の力を信じてパスできるようにしていきたいです。



3、自然豊かな都市

私の暮らしているオレゴン州はすごく自然豊かな都市です。こちらに到着してからというもの、ホストファミリーに連れられて滝やオレゴンコーストを見に行きました。すごく貴重な体験をしました。滝の一番高いところの近くまで上ったりしてそこで写真を撮りました。東京に暮らしていて大自然をこんなに身近に感じることはありませんでした。行く場所行く場所のスケールの大きさに毎回感動しています。特にオレゴンコーストは私のお気に入りの場所です。いま私の使っているパソコンのデスクトップには、オレゴンコーストの写真がたくさん貼り付けられています。今の時期は観光にもっとも適したシーズンようです。もうすぐオレゴンには長い雨期が訪れようとしています。ホストが来週にも雨が降り出すとっていました。いまの時期にいろんなどころに行っておこうと思います。

最後に 私の留学生活はまだ始まったばかりで、特に大きな困難にぶち当たってはいませんが、なにかあっても自分の力を信じて乗り越えていこうと思いました。これから二ヵ月後また変化した私の様子を報告できるよう日々努力していきます！！

(10月8日執筆)

	堀 真知子
	ほり まちこ 早稲田大学理工学部3年 社会環境工学専攻 University of Oregon 留学中

編集長から一言	堀さんのアメリカでの生活が始まりました。ホストファミリーとの生活の中で、自分の意見をはっきり伝えることの大切さを、早くも、経験しています。日本人留学生の多さに驚いていますが、授業にはアメリカの大学の特徴がはっきり出ています。少人数のクラスで、クラスメートとともに学んでいきます。授業への積極的な参加が大きなポイントになります。私のクラスで学んだことの大切さと効果に、もう気がついてきています。実は、その「学んだこと」が、海外子女の「宝」のひとつなのです。
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------